

情報活用能力の本質を問う

名古屋市情報教育研究会顧問
名古屋市教育センター情報教育部部長
榊原 貴久

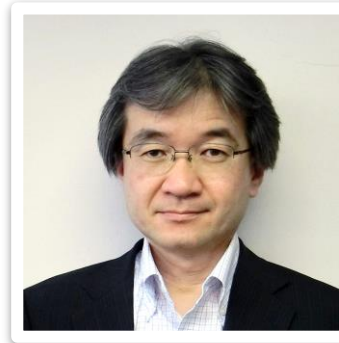
今、「教育の情報化」の成果が問われている。十年以上前から様々な施策が実施され実践が積み上げられているが、誰もが納得する成果は未だ見当たらない。ここでいう「誰もが」とは、学校教育にかかわるほぼ全ての「誰も」と理解してほしい。

教育の情報化の主たる目標の一つとして「情報活用能力の育成」があり、これが明らかに「向上」すれば成果があったと言える。問題は、何ををもって「向上した」と「誰もが」納得できるかである。

そもそも「情報活用能力」という言葉すら、我々情報教育に携わる者にとっては自明（と勝手に思っている）であるが、平成21・22年度の教育センター研究においては、教員の授業力を高める力の一つとして、異なった定義（これが間違っているわけではない）で使用されている。

仮に前者と後者が「情報活用能力の育成」について議論したとき、同じ土俵に立てるのであろうか。ここに「教育の情報化」を支える「情報教育」が学校教育のセンターになかなか立てない大きな原因の一つがあるのではないか。

今こそ、「情報活用能力」の3本柱をお題目のように唱えることから離れ、教科の枠を取り払った横断的な授業分析を行うことで授業の本質について議論を深め、「誰もが」納得できる情報活用力が向上する実践を積み上げていくべきと考えている。



■今年度の研究

平成28年度 名古屋市情報教育研究会 研究主題

「自ら考え、自ら学び、たくましく生きる力を育む情報教育」
- ICTを活用した授業づくりと情報活用能力を育む授業づくりを目指して -

ICT活用研究部

ICTの特性を生かした、子どもが主体的に活動できる授業の探究

情報活用能力研究部

情報活用能力を育成する授業の探究

■総会・研修会・研究発表大会

★名情研 総会・第1回研究部会・学習部会
[5/10(火) 名古屋市教育館]



名情研会長の伊藤聡先生、来賓の榊原貴久先生の挨拶がありました。部会では、各部員が自己紹介し、研究の抱負を話しました。実践者と指導者の顔合わせも行われました。

★NHKメディア研究会

[各学期(年3回) NHK名古屋放送局]
6/8(水)に第1回が行われ、今年度の新番組や最近のNHKの動向について話し合われました。

★名情研 研修部会

[前期・後期(年2回)]
ICT(機器やソフト)の研修をします。

★学習工学セミナー

[8/12(金) 名古屋情報メディア専門学校]
今年度は、堀田龍也氏が講演をします。

★東海北陸地方放送教育研究大会・愛知県放送教育特別研究会

[8/23(火) ウィンクあいち]
今年度は、陰山英男氏が講演をします。

★名情研 全体研修会

[8/25(木) 東区桜丘中学校]
プレゼンテーション資料や教材を作成します。

★名情研 研究発表大会

[11/2(水) 名古屋市教育館]
実践発表と活動報告。会場が変わりました。

■「研究集録Web版」から

名情研Web内「研究集録Web版」から、名情研会員の実践を一部紹介します。

★実践1：小1生活「あきとなかよし」

児童がデジタルカメラを活用して、飼っている虫の特徴を伝える資料を作成した。虫の一部分を拡大して見ることができ、新たな気づきが生まれた。



★実践2：小3理科「動物のすみかを調べよう」

「身近な生き物がその場所にいるのはなぜか」という課題に対して、資料を使って調べ、情報を付箋に書き出した。付箋を基に情報を取捨選択し、整理することで、課題についての自分の考えをまとめることができた。



■「名情研Web」のご案内

「名情研の活動って？」
「ICTを生かしたい！」
「もっと実践が見たい！」

「名情研Web」では、名情研会員以外の方にも役立つ情報を発信しています。スマートフォンでも見やすくなりました。



<http://www.meijoken.com/>

名情研

検索